

雪山慶正 ゆきやま けいせい 評論家。大正元年十月六日岡山縣生れ、昭和四十九年五月六日歿（九二一益）。昭和十一年京都帝國大學經濟學部卒。人口問題研究所研究員、専修大學教授。人口・民族問題專攻。

譯書、E・シエムペーター編『日滿産業構造論・第一卷（日本に於ける人口と資源）』（三浦正共譯、昭和十七年七月）二十五日慶應書房）、

レオ・ヒューバーマン著『資本主義經濟の歩み』全二冊（小林良正共譯、上・昭和二十八年一月二十日、下・四月二十日岩波書店「岩波新書」）、

同『ロアメリカ人民の歴史』全二冊（同、上・昭和二十九年十月二十日、下・十一月二十日岩波書店「岩波新書」）、H&S・ニヤ

リング著『今日のアメリカ』（昭和二十一年六月十日）岩波書店「時代の窓」）、モレイヤイ著『ロアメリカ労働運動の歴史』全二冊（I・昭和二十三年十一月二十日、II・二十四年九月二十日岩波書店「岩

波現代叢書」）、レオ・ヒューバーマン著『労働スパイ』（安田正美共訳、昭和二十四年四月十五日）日経伊國屋書店）、M・L・キング著『自由への大いなる歩み―非暴力で闘つた黒人たち』（昭和二十四年十月

十六日岩波書店「岩波新書」）、コンラット・シロップ著『十月の春

―ポーランド戦後史』（昭和四十年九月二十日新興出版社「現代史の証言叢書」）等。

著書『ロングロー』（昭和二十四年二月

二十一日）『二書房』『三新書』等。

